

一三〇 諸郡引免見立願村々覺

覺

- 一、百二十六ヶ村 能美郡
- 一、百六十八ヶ村 石川郡
- 一、百三十七ヶ村 河北郡
- 一、百二ヶ村 羽咋郡
- 一、五十七ヶ村 鹿嶋郡
- 一、二百八十二ヶ村 礪波郡
- 一、百四十三ヶ村 射水郡
- 一、百十五ヶ村

右村々當作見立相願申候。今年之儀植付以後草生宜敷相見候處、五月中大雨に而度々洪水仕、水損御座候得共、土用中天氣相直り候に付、作躰宜相成申候所、七月半過より長雨に而水損彌増、其上虫指・にも痛も有之、存之外不作仕由に而、御郡々御扶持人共遂見分、見立相願申に付、精誠吟味仕、相願候村數之内爲相減、右之通に相極候。私共追付御郡々見立に罷出申候。以上。

午九月

- 横山兵庫殿
- 奥村彈正殿
- 松原善右衛門殿

改作奉行九人
内 中村勘太夫
江州御用

右今年御領國之内不作村々、十村共見立相願候故、改作奉行數日精誠致吟味、村數相極候趣。私共も委細承届、右奉行僉議之通に奉存候に付、追付見立に罷出候様に申談候。以上。

御算用場奉行三人

年寄衆等九人

外半切に添紙面名附無之、左之通。

別紙之外奉行所附所々、五六ヶ所も見立相願候得共、未僉議相濟不申候。以上。

九月十五日

右紙面大塚彌五太夫・丹羽伊太夫越後屋敷に持參、尤御算

用場奉行中も被罷出候。御年寄衆御列座に而、即刻其通被仰渡候。

一三一 穂切に逢候歩數納所之事

覺

- 一、百五十歩程 西宮村源七・清四郎穂切に逢申歩數
- 右私共組合村之内、西宮村領新開源七・清四郎持分歩數、右之通り穂切仕、何方に取參候哉相知不申候。右兩人之者御斷申上候に付、源七・清四郎に、右歩數相當り申御納所方、被仰渡候御免相を以相動候様被仰渡候。若其上にも相滯候はゞ、私共組合村より御納所相動候様被仰渡奉畏候。尤是以後も右之族有之候はゞ、御納所方等組合村より滯無之様可仕旨、被仰渡畏奉得其意候に付、御請上之申候。以上。

元文三年十月十三日

- 西宮村肝煎 藤兵衛
- 東岩瀬村同 平三郎
- 森 村同 七郎兵衛
- 牧 村同 兵左衛門

- 千原崎村同 茂右衛門
- 草嶋村同 勘 助

栗田源右衛門殿

右黒崎村宗三郎組下西宮村領新開源七・清四郎持分、右之通穂切に逢申に付、組合村肝煎中に段々被仰渡之通、奉得其意申候に付、御請上之申候。以上。

- 黒崎村 宗三郎
- 天正寺村 彦三郎

一三二 新開所不遂見分内稻

刈取候事

南中條村理左衛門組才田村領、寶永元年新開高三百石遂見分、免狀をも相渡候以後、外新開所見分之刻、稻刈跡有之に付様子相尋候所、右三百石之下作地之趣申聞候。最初遂見分候節右飛地有之儀不申聞、第一不遂見分内稻刈取候儀、不罷成御格之儀は相知申事に候。然所見分不相濟内、去年も稻刈取候に付過怠免申付候。又候哉今年右之族仕儀、重々沙汰之限に候。右作人之内才田村次郎左衛門・東